

第1学年 生活科「元気な野菜や花を育てるよ」

学習指導者 安岐 美佐子

支援員 内田 珠世

主張点
(スタートカリキュラムを踏まえて)

本学級のほとんどの子供が幼稚園・保育所等でアサガオを育てた経験があったため、世話の仕方について想起しやすいアサガオを共通教材として用いました。同時に、自分が育てたい植物を育てることで、それぞれの世話を相互に関連させ、自信をもって世話ができると考えました。

前時までの学び

子供たちは、アサガオと自分が育てたい植物が元気に育つようにと、成長の様子等に着目して世話の仕方を考えていきました。アサガオを世話したことで自信をもった子供たちは、自分の植物の世話の仕方に生かしたいと意欲を高めました。

〈課題設定以前〉
1 学習課題を設定する。



前時を振り返る場面で、補助黒板を基に、今までにできたことと前時に考えた本時したいことを整理していきました。そして、本時の課題を設定しました。

アサガオに肥料をあげたり間引きをしたりと、お世話ができました。今日は、自分が育てたい植物が、もっと元気もりもりになるお世話を考えたいです。

学習課題：自分が育てたい植物をもっと元気もりもりにするお世話を考えよう

〈課題解決中〉

2 植物の成長の様子と世話について、観察し、気付いたことを基に話し合う。

まずは、自分が育てている植物について継続して記入しているカードを見て、どんな世話をすれば植物が喜ぶかを考えました。そして、考えた世話について、実物とカードを基に友達と話し合いました。そうすることで、友達と世話の仕方を比較する中で、自分の世話の仕方を見つめ、よりよい世話の仕方を工夫していこうとしていきました。そして、話し合ったことを基に支柱を立てたり、肥料をあげたりと植物の様子に合わせて世話の仕方を考えました。

3 考えたことを植物の世話に生かす。

僕のミニトマトは、背が伸びてぐらぐらして倒れそう。だから、支柱を立ててあげるんだよ。虫もとってあげるんだ。



トウモロコシには、ナスみたいな支柱はなくてもいいね。でも、虫がついているよ。私も、とってあげよう。

〈課題解決後〉

4 学習を振り返り、次の課題を見いだす。

本時の学習でのできたことを確認した後、「自分が育てたい植物の世話ができたら、次は植物にその世話でよかったか聞いて確かめたいな」「野菜に支柱を立ててあげられたから、次は、これからどんどん大きくなるアサガオにもしてあげたいな」などと、次時にしたいことについて全体に表出しました。

今日はキュウリの喜ぶ世話ができよかったよ。次は、この世話でいいか植物に聞いて確かめたいな。



考察

育てている植物とカードの2つを用いて友達と世話を比べたが、実物と世話の仕方が一目で分かるよう、植木鉢に世話の仕方が分かるシールを貼り付ける等の工夫をすれば、より世話の仕方に焦点化した話し合いになるのではないか。

